

研修科目	多文化共生推進支援
分野	ガバナンス
コース No.	NS2
研修種別	短期（90 日以内）
上期・下期	上期
来日日	6/16
帰国日	8/23
提案団体	小松市国際交流協会
提案 URL	http://39kia.jimdo.com/
現職・資格・知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ Word、Excel、PowerPoint 等の基本的なパソコンスキル ・ 日常会話程度の英語力があれば尚よし
経験年数	不問
日本語能力	N4
ポルトガル語・スペイン語能力	ポルトガル語（母語）
① 目標	日本の行政サービスや外国人支援策及び多文化共生の現状を理解し、受け入れ側（日本）の在住外国人への最適な支援を考えるとともに、外国人が来日前にしておくとい準備や知っておくとい情報、永住化を見据えた準備・心構え等はなにかを考え提案する。また、地域住民への多文化理解事業を実施することにより、多文化共生社会の推進に寄与する。
② 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の行政における外国人支援策や多文化共生の現状、教育システムなどについて理解し、母国との違いについて学ぶ。 ・ 外国語としての日本語の教え方、外国籍児童・生徒に対する学習支援方法などを習得する。 ・ 研修成果を生かし、母国における日本語教育の指導向上や、来日前の情報提供・アドバイスを目指す。
③ 計画（内容）	<p>講義：県内・市内外国人及び外国籍児童受入、日本の教育システム、外国人支援施策など</p> <p>見学：外国人支援施策課、外国人支援団体、日本語教室、外国籍児童・生徒に対する学習支援など</p> <p>実習：市役所・外国人支援団体でのサポート、地域住民に対する多文化理解事業など</p> <p>報告：日本と母国との比較について報告し、関係者との意見交換を行う</p> <p>発表：研修成果の発表</p>
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	本研修では、研修員は小松市役所内にある「外国人サポートデスク」や、小松市国際交流協会に設置されている「外国人くらしの相談窓口」にて相談対応のサポートをする予定である。在住外国人のリアルな相談に対応することにより日本で生活するうえでの在住外国人が抱える課題・困りごとや解決方法などを学び自国で生かすことができる。さらに母国と日本の行政サービスや制度、教育システム、文化的背景などの違いについて報告をしてもらい、改善点などを提言して頂く。
備考	